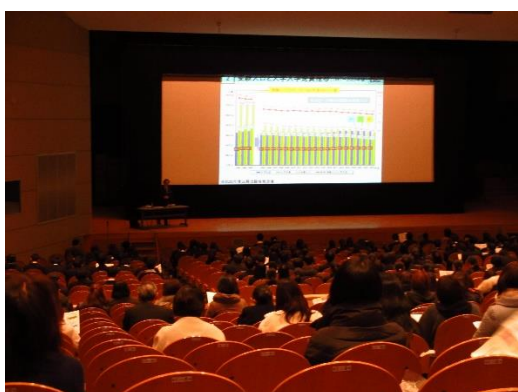


## 保護者進路講座（難関大学志望者講演会）

2月7日（金）放課後に「保護者進路講座（難関大学志望者講演会）」を実施しました。講師に、駿台予備学校広島校校舎長の磯川勝様をお迎えし、約一時間の講演を実施いただきました。当日は1・2年生の生徒、保護者の皆様合わせて約300名の参加となりました。

講座の内容として、①入試を取り巻く環境、および ②第一志望合格に向けて の話を中心として、難関大学を中心として、広大志望者に向けても通じる幅広い話をさせていただきました。

1年生、2年生ともに年度末が近づき、進級・進学、また受験生としての自覚も生まれてきたようです。また、新しい制度の入試への疑問点や心配事も抱える中、大変貴重な機会となりました。磯川先生、どうもありがとうございました。



## 生徒の感想から

- ・難関大学も基礎力が大切なのだと再確認した。
- ・難易度の高い問題も、基礎力ができていないと解けないので、しっかり固めようと思った。
- ・インプットしただけで満足せずにアウトプットできるようになるまで訓練しようと思った。
- ・学校の授業が何よりも大切なのでそこをしっかりと理解し、復習に時間をかけるなどして今できる最善の努力をしたい。
- ・大学受験が大変であることが本当によくわかった。まずは基礎学力をつけることが本当に大切だとわかったので、日々の課題に真剣に取り組もうと思った。
- ・答案作成はコミュニケーションだと言う言葉が響きました。採点官がわかりやすいような答案を作るよう心がけたいです。
- ・自分の希望大学の入試の配点を調べてみたり、アドミッションポリシーを調べておこうと思いました。
- ・早めに志望校を決めて、「テストや模擬試験のための勉強」から「志望校合格へ向けた勉強」とシフトチェンジしたい。
- ・謙虚な気持ちで勉強に取り組むことが大切なのだとわかりました。
- ・①教科書の理解を徹底する。②考えたことや理解したことを人に伝える。③今の環境を最大限に生かす。④苦手分野や弱点を見つける。⑤ケアレスミスをなくす。⑥答案のファイリングなどの教えてもらったことをこれからやってみようと思った。
- ・模試の解きなおしばかりやっていたけれども、模試で正答率が少なかった大問の単元を4ステップやチャートで基礎を固めたいと思った(数学)
- ・暗記においてもただ覚えるだけではなくそれを「知識に変える」ということを意識しながら暗記をしたい。
- ・東大新聞に載っていた答案作成は「自分の考えを伝える」力を養うために必要な練習の場であると言うことが1番印象に残った。
- ・各大学の特徴や求める力は、入試の配点からも知ることができると分かった。ホームページなどで調べただけでは書かれていないことも、配点の傾向から読み取ることができると知ったので帰ったら調べてみようと思う。
- ・数学にも読解力は必要だということがわかり、読解力は欠かせないものと分かった。
- ・例えば数学では、自分の頭の中にある数式をただ書き並べるだけでなく、きちんと説明の日本語もつけて相手に伝える答案を作ることが大切なのだとわかりました。